

1130 | 絵画Ⅳ

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

三浦明範教授、長沢秀之教授、赤塚祐二教授、遠藤彰子教授、袴田京太郎教授、水上泰財教授、樺山祐和教授、丸山直文教授、小林孝亘教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、金子善明講師、佐々木敏講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、松村繁講師、山本明比古講師、吉川民仁講師

授業の概要と目標

A系、B系選択。

「人と身体性」をテーマに、とくに表現の身体性ということに注目し制作する。古来人間の体は造形表現の主要なテーマとなってきた。私達は人体を通して様々な人間的な経験や感情を呼び起こす。又、人体は一つの生命体であり、それを描くことは私達の身体を通してなされる。それは、観念的な捉え方を突き崩し、新たな表現の可能性を模索する場でもある。

通信授業、面接授業を通して「人と身体性」をテーマに制作する。

課題の概要

○通信授業課題

〈A系〉「人と身体性」

1-1 二人の人物を組み合わせて描く。母と子、夫婦、兄弟姉妹、あるいは身近で見かけた二人の人物、会話する二人等を対象としてクロッキーする。

1-2 「1-1」のクロッキーや実際の対象をもとに二人の人物を画面構成してデッサンする。

1-3 クロッキー、デッサンや実際の対象をもとに油彩で制作する。

〈B系〉「人と身体性」

1-1 動いている人や動物等を対象に、動きを捉えるという意識でドローイングする。

1-2 「1-1」をもとに自分の手の動きなど、身体性から出る形を加えて構成し「1-3」のためのエスキースを制作する。

1-3 「1-2」をもとに平面作品を制作する。

○面接授業課題

〈A系〉「人と身体性」

1-1 固定ポーズの人物（ヌード）を2名配置し、クロッキー・エスキース、デッサンする。B2画用紙または木炭紙。

1-2 「1-1」と同モチーフを油彩で制作する。30～40号程度キャンバス。

〈B系〉「人と身体性」

1-1 固定ポーズやムービングポーズの人体（ヌード）から造形的要素を取り出すという意識でクロッキーする。そこに自分の、身体性から出る形を加え、エスキースを制作する。支持体は自由で30号程度のフリーサイズ。描画材は自由、コラージュ可。2～3点提出。

1-2 エスキースをもとに平面作品を制作する。支持体は自由で30～40号程度。描画材は自由（油彩、アクリル絵具他）。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『絵画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』の「絵画Ⅳ」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第1章「デッサン・油彩」、第2章「油彩画の素材・技法と表現」、第3章「水性絵具」等を参照。

教科書『絵画—アートとは何か—』の第1章「美術の成り立ち」等を参照。

[面接授業]

〈A系〉	第1日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（クロッキー・エスキース及びデッサン）
	第2日	午前：制作	午後：制作
	第3日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
	第4日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（油彩）
	第5日	午前：制作	午後：制作
	第6日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
〈B系〉	第1日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（クロッキー）
	第2日	午前：制作	午後：制作（エスキース）
	第3日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
	第4日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（平面作品）
	第5日	午前：制作	午後：制作
	第6日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「絵画Ⅲ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備考] 油絵学科絵画コース3年次必修科目。

「絵画Ⅲ」、「絵画Ⅳ」、「絵画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されている。ただし、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『絵画—アートとは何か—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『複合的表現—絵画からの展開—』（武蔵野美術大学出版局 2005年）

学習指導書：『絵画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）